

広報

心しん

NO. 192

発行・富士市役所
富士市永田61-1
編集・
企画調整部広報広聴課
【毎月5日と25日発行】

50.11.5 発行



第八回緑と花の百科展（十月二十六日・市役所駐車場）

オリエンテーリングを やってみ

みなさんオリエンテーリングをご存じですかー
地図と磁石をたよりに決められたコースでポイント
をさがしながら歩くスポーツですね。市では丸火自然公園に6キ。と10キ。のコースを設け、

いつでも利用できるようにしてあります。それ
では、オリエンテーリングの方法を簡単にお知
らせいたしますので、1度ためしてみてください……。

丸火自然公園に 6キ。と10キ。のコース

オリエンテーリングは、磁石と
地図をたよりに決められたコース
を回り、その途中にあるいくつか
のポイントをできるだけ短い時間
に探しあててゴールする競技です
地図の読み方、磁石の使い方を知
れば誰でも簡単にできます。

市は丸火自然公園を中心に6キ
と10キの2つのコースを設けてい
つでも利用できるようにしてあり
ます。6キは丸火コースで家族向
き、10キは富士愛鷹コースと呼び
どちらも初心者向きです。両方と
も8つのポイントを固定してあり

ますので、それを順序よく回り、
ポストの記号をチェックカードに
記入します。

用意するものは地図 コンパス、ボールペン

オリエンテーリングは林の中や
沢なども歩きますから、運動がで
きる服装でお出かけください。用
意するものは

- 地図 (25000分の1)
- コンパス (シルバーコンパスがよい、ない場合は磁石と分度器定規を用意すると便利です。)
- ボールペン (赤と黒の2種類)

地図は少年自然の家 (オリエン
テーリング協会) で実費(1部30円)
でおわけします。なお、コンパス

のない方には貸出しています。
地図とコンパスの用意ができた
ら、親地図 (少年自然の家の敷地
内に掲示) をみて自分の回るコ
ースを地図に記入します。

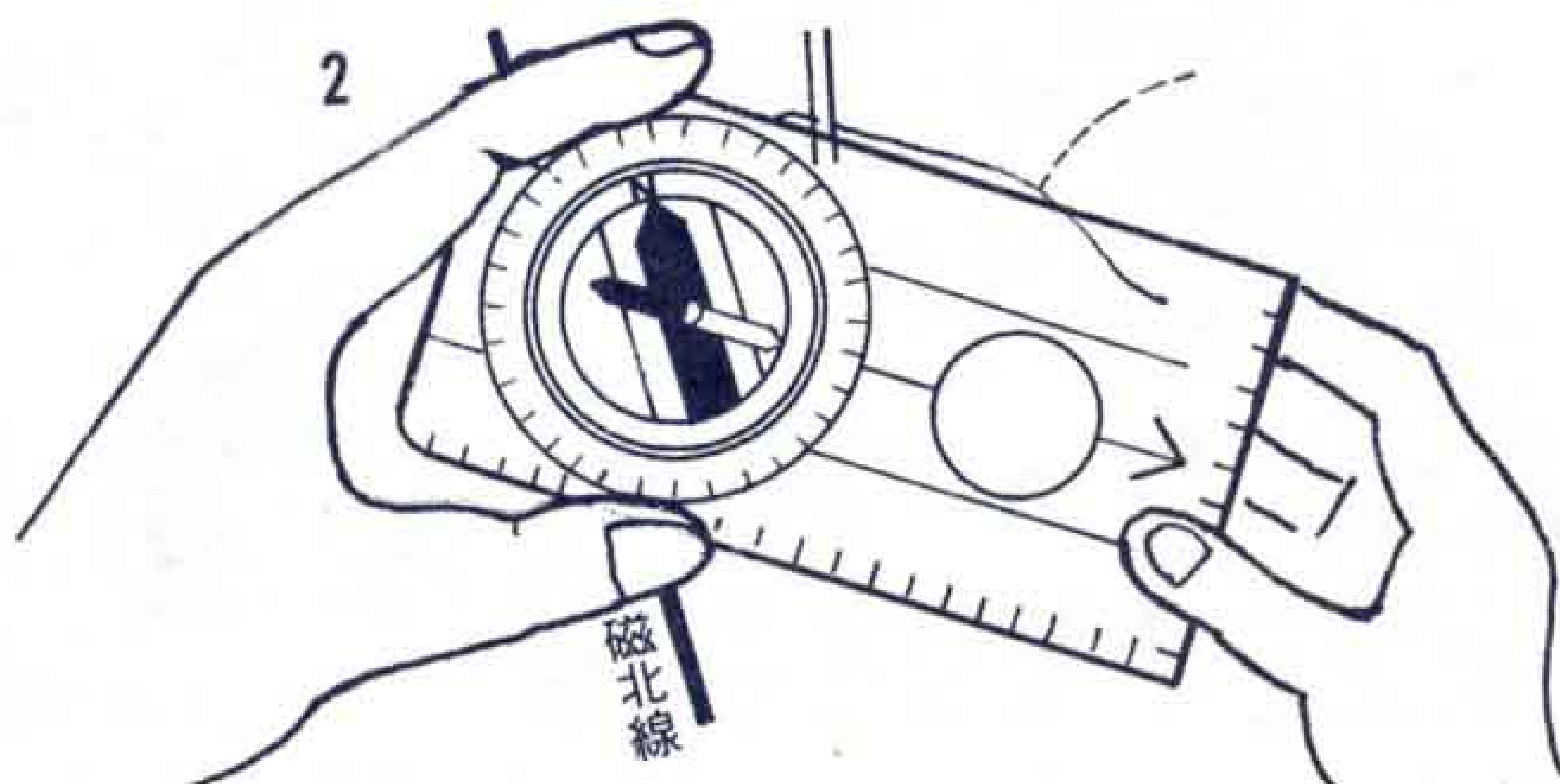
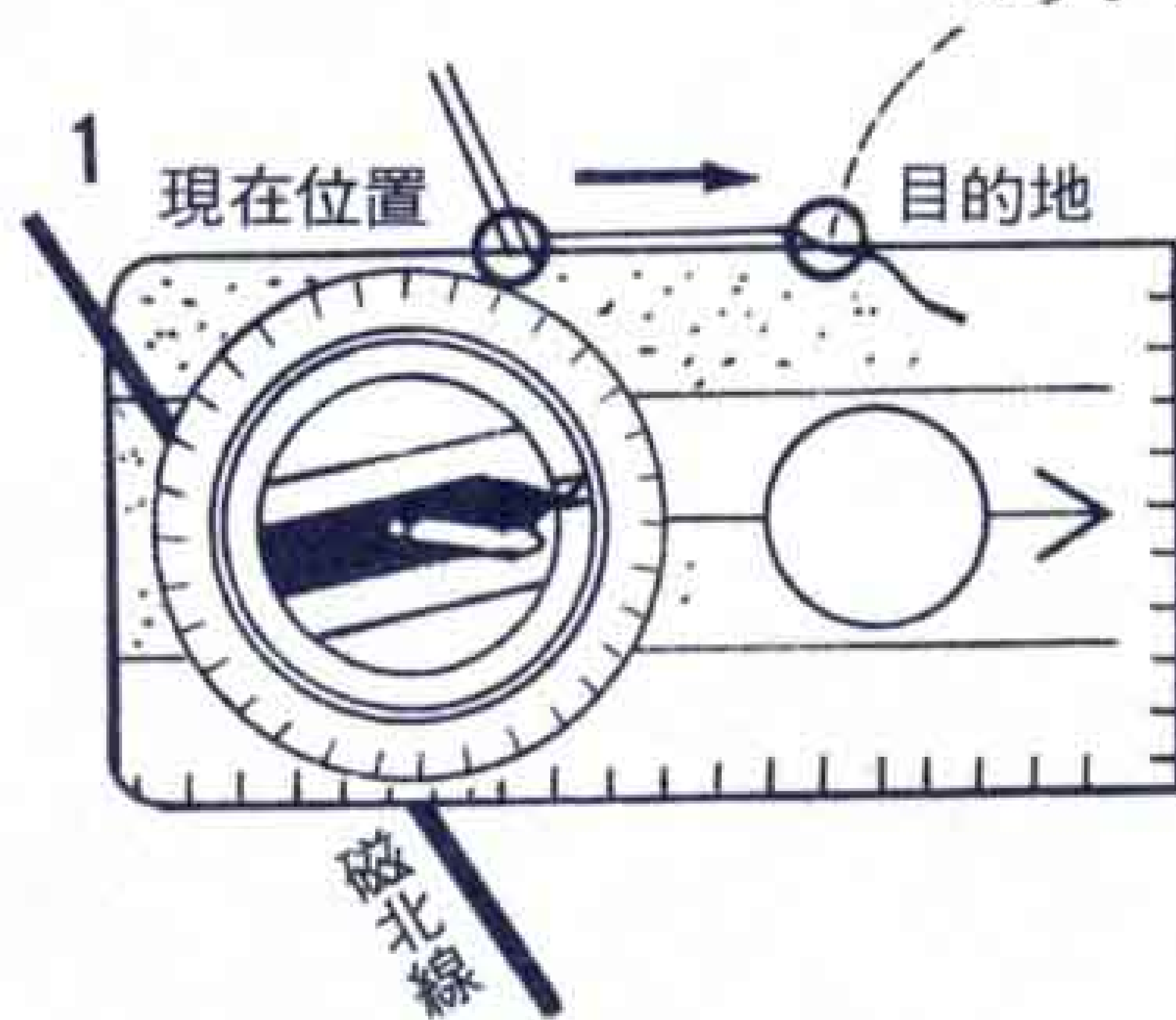
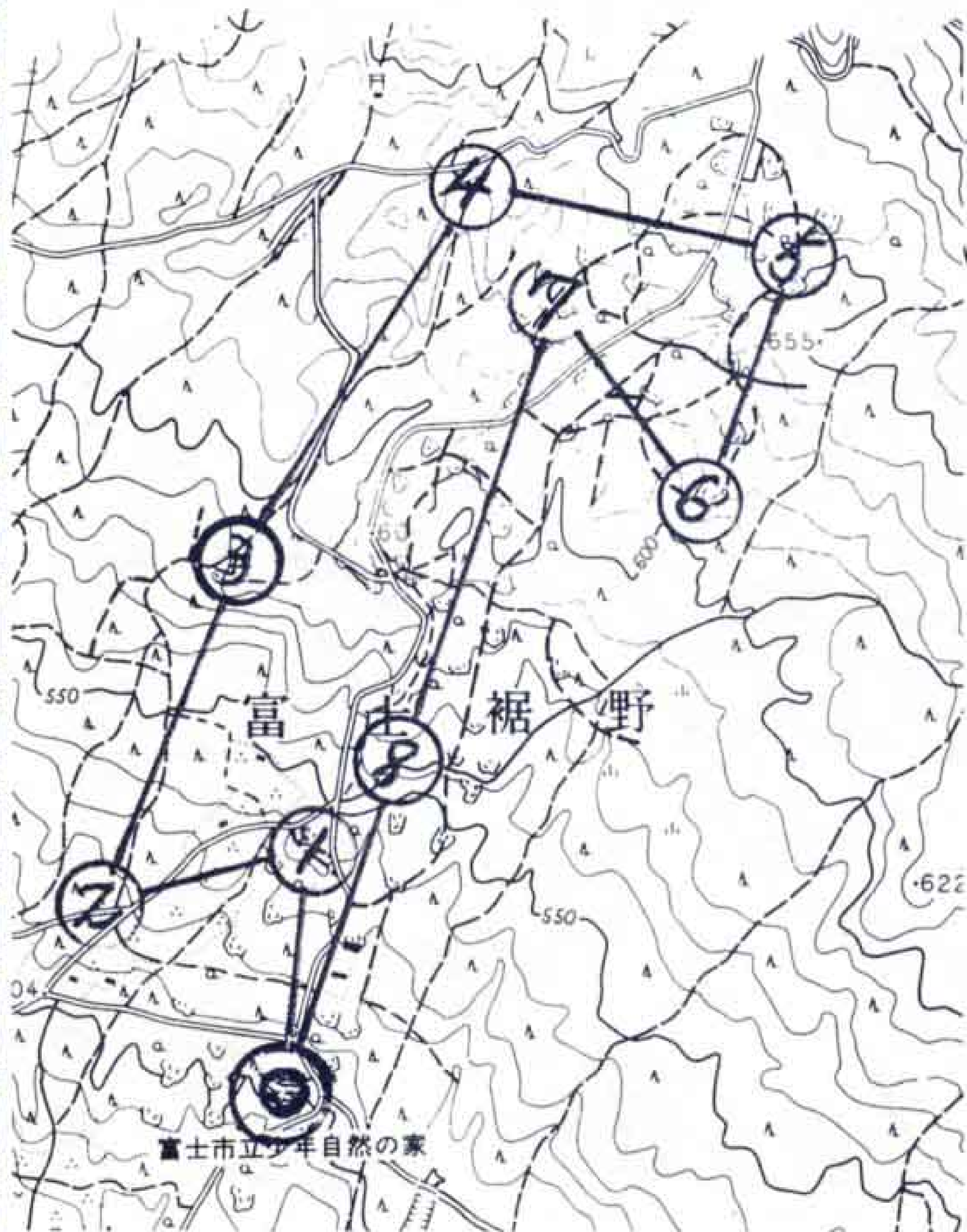
地図の読み方

それでは地図の読み方を覚えて
ください。25000分の1では1キは
4センチ、1センチは250mとなり
ます。あなたの1歩は何センチで
すか、自分のからだで歩測するこ
とが大切です。

次に地図の記号を見てください
目的地までいろいろな目標物があ
ります。記号を知っていると発見
するのが簡単です。また等高線
を読むこと (25000分の1では10m)

です。地形が読め、記号を知っ
ていれば、自分の現在地
や目的地がすぐわかり
ますね。

しかし、地図の縮尺
と記号を知っただけで
は、まだ目的地にはい
けません。方向をはっ
きりつかまえなければ
なりません。方法は



ませんが



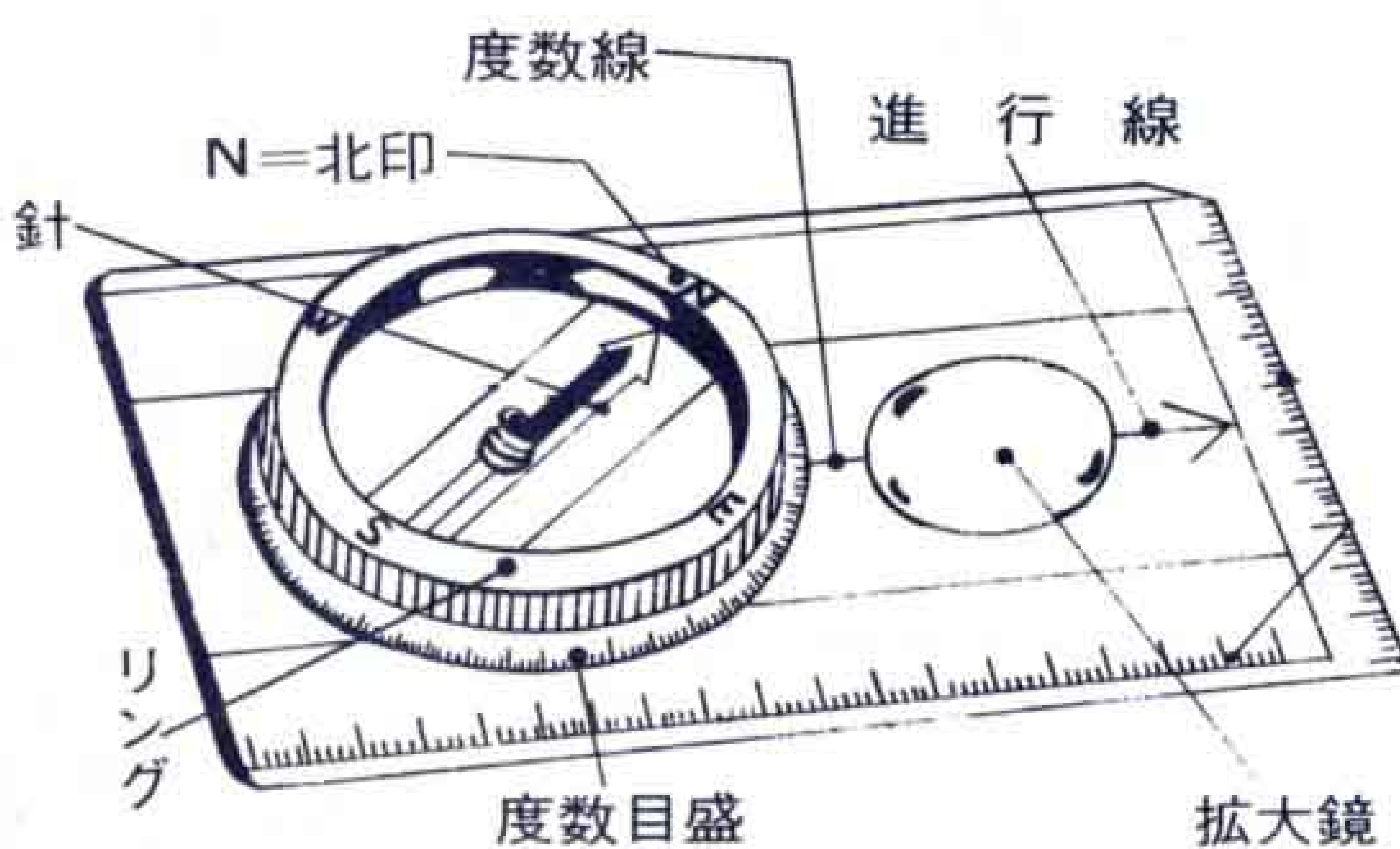
ろいろありますが、磁石と分度器、定規がいっしょになったシルバーコンパスを使うと便利です。

コンパスの使い方

コンパスの使い方は、下の図1番でまず現在位置と目的地とをコンパスの長辺に合わせます。次にリングを回して、リングの先印を磁北線と平行におきます。平行になったら、コンパスをからだの前面にもち、リングの矢印と針が重なるまでからだを回します重なったときの進行線が進む方向になります。

以上のことがわかればもう出発です。

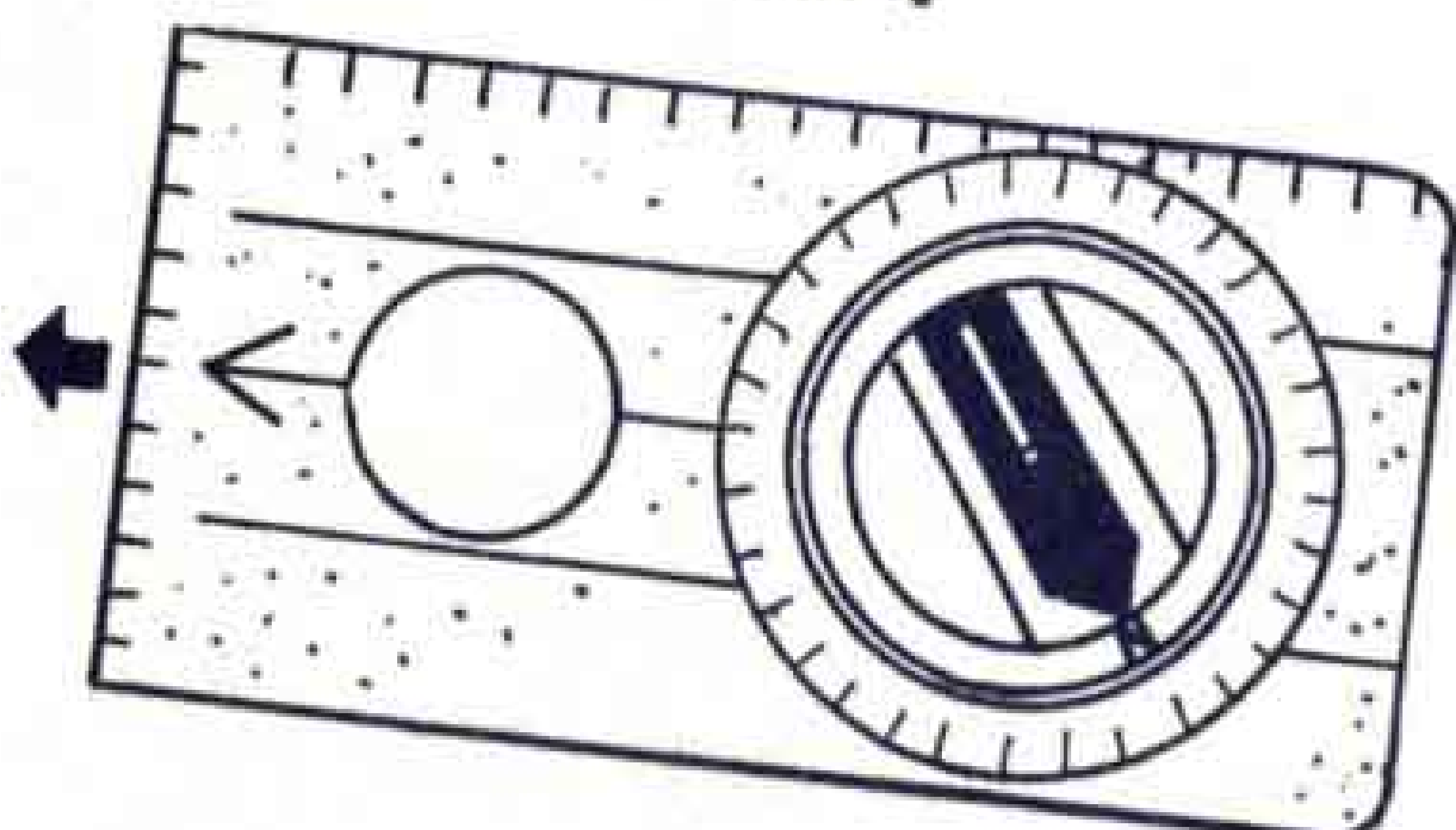
鳥のさえずり、木々のささやきなどに耳をかたむけながら、自然を満喫してください。



注意事項

- ★自然を愛しましょう。樹木を傷つけたり、自然をこわすようなことはしないでください。
- ★他人の庭や畑に入ったり、係員に黙って帰ったりして、他人に迷惑をかけないでください。
- ★自分の安全は自分の責任で処理し、自分で起こした事故を他人の責任にしないでください。怪我、損害、損失など、市は小さい責任をもちません。
- ★山林の中でタバコを吸ったり、ゴミを散らかさないでください。

3



花崎年雄さんが 杉山さだ子

県知事表彰

静岡県知事表彰の受彰式が11月3日県庁で行われ、花崎年雄さんと杉山さだ子さんが表彰されました。おふたりは、50年度の富士市長表彰も受けられるなど二重の榮譽に輝いています。



地方自治功労

花崎年雄さん

(71才・五味島)

功績概要

23年間にわたり市選挙管理委員会委員長として、選挙の管理執行にあたるとともに、選挙思想の普及に努め、公明選挙の実現に貢献しました。



社会福祉功労

杉山さだ子さん

(68才・今泉7丁目)

功績概要

30年余にわたり民生・児童委員として社会奉仕の精神をもって、婦人の立場から地域の社会福祉活動の実践指導に努め、福祉の増進につくしました。

公選法が改正

最近の選挙の実情にそって、公職選挙法が一部改正され、10月14日から施行されました。改正されたものは議員定数の是正、供託金の引き上げ、公職の候補者などによる寄付の禁止、文書図書に掲示および機関紙などの頒布の制限などがあります。

花輪や香典・祝儀も違反です

政治家や候補者などに、金をつかわせないようにしなければなりません。いかなる場合、選挙のあるなしにかかわらず、選挙区の人に贈り物をしたり、また逆に有権者の方から候補者などに寄付を求めることは禁止されました。立派な政治家を育てるように有権者も心がけましょう。

- ★お中元やお歳暮を贈ること
- ★町内会や老人会などの集まりに、お金を寄付したり、食事やお酒を届けること
- ★町内会などの団体旅行の際、弁当や飲物をさし入れたり、バス代などの費用を負担すること
- ★開店祝いや落成式、起工式などのときに、花輪を贈ること
- ★お祭りのときにお金を寄付したり、お酒などを届けること
- ★結婚式のときに、お祝いのお金や品物を贈ること
- ★出産・入学・卒業・就職などのお祝いに、お金や品物を贈ること
- ★お葬式の際、香典や花輪、供物などを贈ること
- ★旅行する人に餞別を贈ること
- ★選挙区からの陳情者などに、食事や飲物をだしたり、おみやげなどをあげる

田んぼや空地の立看板も違反です

政治家や後援団体の立て札、看板などの立て札、看板を出すことは違反になります。事務所以外の田んぼや空地に〇〇後援会事務所、

ベニヤ板等に貼ったポスターは違反です

後援団体等の政治活動に使用されているベニヤ板やプラスチック板、その他これに類する「裏打ちポスター」は、禁止されました。現在、街で見受けられる演説会等のポスターは違反になりますので、撤去するように警告しました。

こういうことは法律で禁止されました



出産・入学・卒業のお祝い品やお祝いのお金



団体旅行の寄付や差し入れ



お中元やお歳暮



お葬式の香典、花輪、供花



食事やおみやげ



集会などの飲食代

行政無線局を開設

11月1日から使用開始

災害時の通信網の確保や行政の能率化に活用し、市民サービスの徹底を図るため「行政無線」を設置しましたが、このほど電波管理局の免許がおり、11月1日から使用をはじめました。

この無線システムは市役所の基地局と車に設置した移動局からなり、選択呼出し及び通話ができます。相互の選択呼出し方式は従来の無線呼出し方式と異なり多くの利点があります。まず呼出し方式も普通の電話と同じで、2ケタの番号をダイヤルす

れば移動局を呼出すことができます。また、99番を回すと全移動局を一斉に呼出し、一斉緊急指令を行うこともできます。移動局からは、各課の単信電話機を選択呼出し通話を行います。このほか、移動局（車両）からはなれても呼出しのあったことが確認できる着信表示装置などがあります。

基地局は市役所8階の放送室に設置してありますが、遠隔制御機を公害課、水道工務課、道路課に設置し、移動局を3課の所属車両に選択呼出し無線機を

取り付けてあります。なお、災害本部用として総務課と2階市民ホールに仮設ケーブルを設け、いつでも使用できるようにしてあります。

無線の呼出名称は、基地局が「きょうせいふじし」、移動局は「ふじし1～3」、電波の形式はFM電話方式、周波数は153.49MHz、空中線電力は基地局5W、移動局10Wで、常時使用できます。



幸せをあしたにつなぐ火の始末

●11月26日～12月2日 / 秋の火災予防運動●

秋の火災予防運動が11月26日から12月2日まで全国一斉に行われます。運動はこれから冬場にかけて火災の発生しやすい時期にむかい、ひとりでも多くの人に防火意識をもってもらい、火災の発生を防止するため

行うもので、「幸せをあしたにつなぐ火の始末」を統一標語に進めます。

そこで、運動期間中家庭の防火診断や危険物の施設点検指導など次のことを行います。

●一般住宅や老人宅の査察

- 空地等の枯草処理指導
- 野積故紙等の貯蔵指導
- 防火講座や懇談会、講演会の実施
- 百貨店等の立入検査
- 幼稚園等で映画教室
- 消防演習や事業所の消防訓練指導
- 自衛消防隊操法指導
- 家庭消火用具の設置指導

なお、今年9月までに市内で発生した火災は88件、傷者10人、損害額は1億6594万円です。これらの火災原因は90%が不注意によるもので、もう少し注意をすれば防ぐことができたはず。これからどの家庭でも電気ゴタツやストーブなどの暖房器具を使うことと思いますが、充分注意してください。



農業センサス集計結果

農家はますます減少

1975年農業センサスを本年2月1日に行いましたが、調査にご協力ありがとうございました。

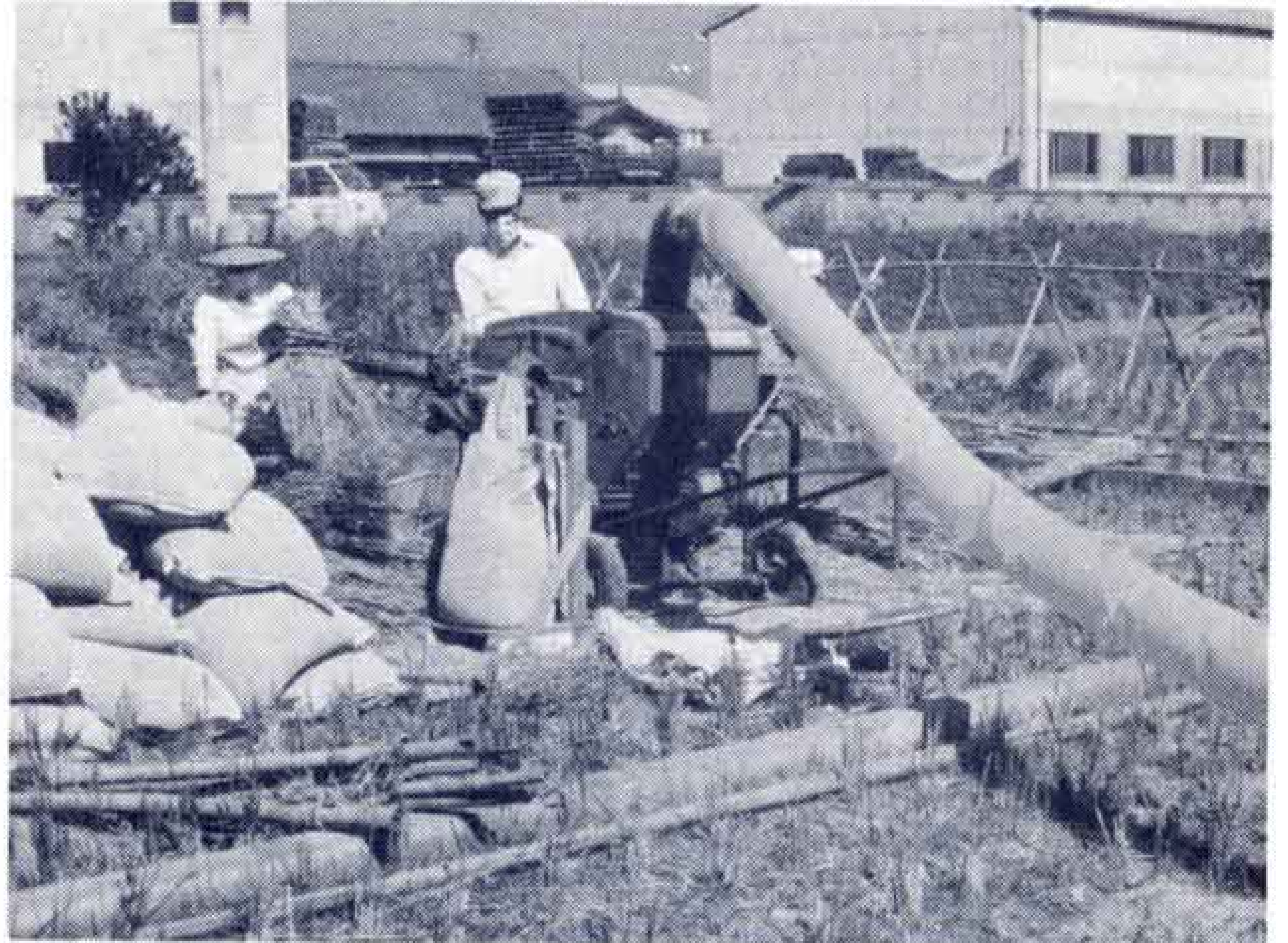
農業センサスは、農家に関する国勢調査ともいふべき総合的な統計調査で、昭和25年以来5年ごとに実施されています。調査は経営耕地面積5アール以上と5アール未満でも過去1年間に農産物販売額が7万円以上あった世帯を農家として行いました。調査によって我が国全体の農業、農村の姿をはっきりとらせることができますから、結果は、国なり県なりでいろいろな農業施策を行う場合の最も基礎的な資料となります。それでは調査結果をお知らせいたします

耕地面積は毎年減っていますが農家数、農家人口も前回の昭和45年調査に比べ大幅に減少しました。

農家数は5479世帯で、前回に比べ527世帯減少しました。農家人口は29118人で、4577人減っています。

このうち専業農家は605世帯で前回に比べ236世帯減少しました。

兼業農家をみても第1種（自家農



【労働力の不足は機械化で】

業を主とする農家)は、1112世帯で前回より99世帯減少、第2種（自家農業以外の仕事を主とする農家)は3762世帯で、192世帯減っています。

年別農家人口

区分 年別	農家人口	前回比数		総人口 <small>住民登録 各年2月1日現在</small>	総人口に対する農家人口比	農家1戸当り 平均数
		増減数	増減率			
昭和35年	50.514人	— 人	— %	139.577人	36.2%	6.4人
40年	41.325	— 9.189	— 18.2	157.116	26.3	6.0
45年	33.695	— 7.630	— 18.5	179.776	18.7	5.6
50年	29.118	— 4.577	— 13.6	199.955	14.6	5.3

おたずねします

農産物の流通にはどうしても卸売市場が必要だといいますが、それはなぜですか？

農産物は生産や出荷が調整しにくい

農産物は①産地が全国に分布し、できぐあいや出回りが天候に左右されやすく、生産がきわめて不安定。

②本来規格性、貯蔵性に乏しい。③需給のバランスがとりにくい。ということから一般商品とは違った性格をもっています。

消費も零細

農産物の多くは貯蔵性が低いうえに、腐敗、変質性は高く、各家庭の貯蔵機能も充分ではありません。このため、消費者のほとんどがその日に必要なものだけを購入します。購入する品物はその日の天候や気分によって変わりますから、小売店も常に消費者の買う物を見通した品揃えが

必要です。したがって、一般商品のようには一時に大量に仕入れて、順次販売していくことが困難です。

農業物の流通に必要な卸売市場

このように不安定な流通事情を考えると、適種適量の品揃えと能率的な荷さばきができ、生産者にも消費者にも納得のいく価格形成を行うためには、どうしても卸売市場が必要です。市場には色々な品物が大量に集まりますから、仕入れに来る多くの買手と取引を集中的、能率的に行うことができます。



市長表彰

おめでとうございます

昭和50年度の富士市長表彰を、11月1日富士市農協会館で行い渡辺市長が表彰状と記念品を手渡しました。今回表彰を受けたのは、地方自治功勞で長谷川恒三さん（吉原3）、佐野喜郎さん（水戸島本町）、遠藤松吉さん（広見東本町）、外山義一さん（中丸）、田村睦彰さん（伝法）、花崎年雄さん（五味島）、産業功勞で岩辺藤作さん（宮島）、社会福祉功勞で杉山さだ子さん（今泉7）の8人です。

喜びの戴帽式

＝富士准看護学院＝

子供のころからあこがれていた看護婦になれましたと喜びいっぱいの富士准看護学院の卒業生。10月21日に昭和50年度の戴帽式が行われました。この日看護婦として巣立つ秋山貴代恵さんら21人は、6カ月間看護婦の修得に努め、知性、人格が認められ、ひとりひとりにナースキャップが授けられました。



大淵公民館で七宝焼き教室

自分のアイデアでブローチやペンダント、ネクタイピンを作ってみませんか…と大淵公民館でさきごろ七宝焼き教室を開きました。

参加者は家事の合い間を見てかけつけたご婦人達。銅板に思い思いの模様や絵を書き、炉で焼きあげました。できあがった作品はどれもユニークなものばかり、みなさん手づくり作品に満足していました。



自然教室に参加して

元吉原中学校1年 長谷川玉樹

ぼくは今、少年自然の家でやった自然教室に参加してよかったと思っている。初めは、ほかの学校の生徒といっしょになると言うことで、いやだったけれど、お風呂に入るところにはすっかりうちとけて仲良くなりました。

先生から聞いた天体の話もおもしろく、楽しみにしていた天体観測も空が晴れてうまくできました。屋上

はとても寒かったけれど最初から最後までずっと見ました。自分でも直接天体望遠鏡を動かし、木星、アンドロメダ星雲、スバル、アルデバラン月などを自分の目で確かめることができました。木星の衛星も2つ見え、アルデバランの二重星もよく見えました。月のクレーターも手に取るように見えたし、流星も「サー」と尾をひいて頭上の空から東の空に

消え、本でしか見たことのないぼくは、こうふんしました。

翌日のフィールドワークもグループで仲良くできました。暗夜行路の時も目かくしをしてやって、木にぶつかったりとても楽しかった。

せっかく仲良くなった友達と別れてしまうのがとても残念で、もう2〜3日泊りたくなるほどでした。

自然教室に参加して、多くのいいものを得る事ができ、ほんとによかったと思います。また来年もこのような企画が行われたら、ぜひ参加したいと思っています。



第10回発明くふう展

中沢浩美さん（吉原2中）に市長賞

第10回富士市発明くふう展を10月22日から3日間、吉原市民会館で行いました。出展作品は小学生76点、中学生185点、一般9点の合計270点もありました。

出品作品はいずれも独創性があるって日常生活の中から考えだした優秀なものばかりで、賞を決める審査員も苦労していました。なお、審査の結果、中沢浩美さん（吉原2中1年）が考案した砂取下駄箱が市長賞に選ばれました。



かりがね堤の完成で新しい村が

江戸時代、幕府にとって一番大切なのは年貢でした。たくさん年貢をほしい幕府は、全国のあちこちにお米のとれる新しい土地をつくることをすすめました。かりがね堤がつくられたのも、そんな幕府の目的があったからです。

かりがね堤によって松岡、五貫島宮島、前田、それに森島、水戸島、宮下、また高島、五味島、中島など今の岩松、田子浦そして富士駅のまわりにも村ができはじめました。

島のつく村が多いのは、河原とちがって少しは土のある中州(なかす・川の中に土砂がたまって、島ができたところ)に、最初に人が住みはじ



めたからです。富士川には、中州がたくさんありました。

新しい土地に、中里の古郡孫太夫のけらいや、伊豆、山梨、浜松の方からも人が移り住んできましたが、水を送り水田にする仕事は大変なことでした。

新しい広い土地にも、すみずみまで水がゆきわたる、富士川やうるい川の水を利用した用水路ができました。現在富士地区は、米、野菜、富士梨などなんでも作れる豊かな土地に変わっています。